

後方録画用ドライブレコーダー

取付説明書

共通編

このたびは、スズキ純正用品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
本書は後方録画用ドライブレコーダーの取付方法「共通編」について記載しています。
取り付け前に、本書と別冊の「車種別編」を必ずお読みいただき、正しい取り付けを行ってください。
本書に記載の取付位置以外の場所、または取付方法以外の方法で取り付けられたものについては、取付作業者の責任となります。取り付け後は本書および「取扱説明書」を必ずお客様にお渡しください。
なお、取り付けミス为了避免のため、取り付けはスズキ代理店、またはスズキ代理店が指定した販売店で行ってください。

安全に関する表示

この取付説明書の中で使用されている記号は、次のようになっています。

警告、**注意**、**注記**、**アドバイス**のところは、とくにしっかりお読みください。

 警告	取り付け、取り扱い方法を誤った、または守らなかった場合、死亡または重大な傷害につながるおそれがある内容です。
 注意	取り付け、取り扱い方法を誤った、または守らなかった場合、傷害につながるおそれがある内容です。
注記	取り付け、取り扱い方法を誤った、または守らなかった場合、物的損害につながるおそれがある内容です。
 アドバイス	この用品のために守っていただきたいこと、または知っておくと便利な内容です。

適用車種および適用年式

品番	適用車種		適用年式
99000-79BS0 (DRVR518S)	エブリイ ラパン エスクード イグニス ワゴンR スペーシア クロスビー ジムニー/ジムニーシエラ	DA17V、DA17W HE33S YEA1S FF21S MH35S、MH55S、MH95S MK53S MN71S JB64W / JB74W	2019年4月～
	スペーシア ベース	MK33V	2022年8月～
	ハスラー	MR52S、MR92S	2020年1月～
	ワゴンR スマイル	MX81S、MX91S	2021年初号機より
	アルト	HA37S、HA97S	2021年12月～
99000-79CLO (DRVR518S2)	スイフト	ZC13S、ZC・ZD53S、ZC・ZD83S ZC43S、ZC33S	2019年4月～
	ソリオ	MA27S、MA37S	2020年11月～

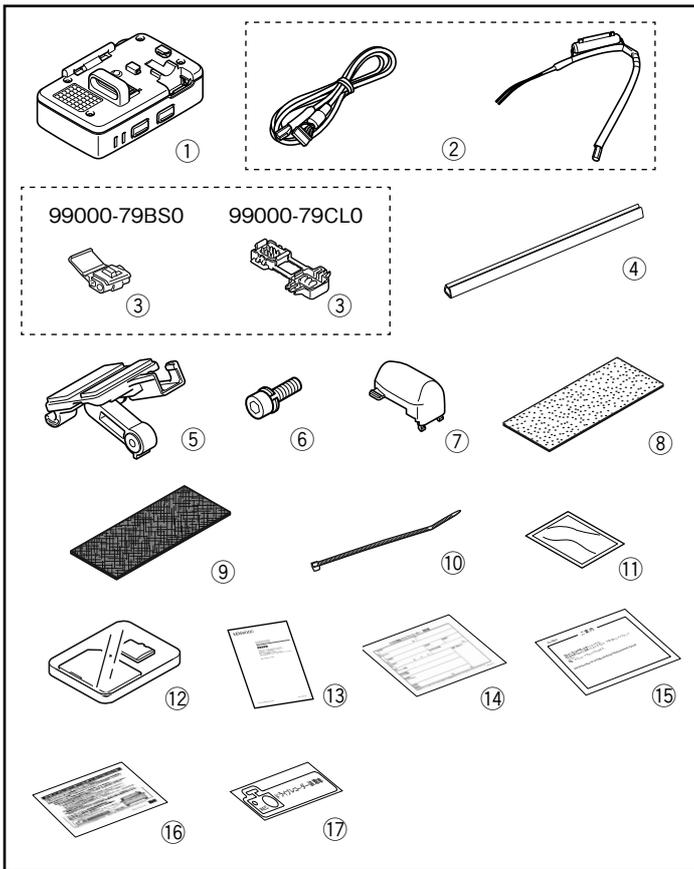
リヤワイパー非装備車は取付対象外です。

 アドバイス

- 動作確認のため同梱品と同等レベル品の microSD カード (8GB、16GB、32GB の内いずれか) をご用意ください。
- 同梱の microSD カードを使用して動作確認をしないでください。同梱の microSD カードを使用すると、車両引き渡し前に撮影された映像が microSD カード内に保存されてお客様の元へ渡ります。

構成部品

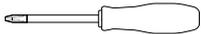
■ 後方録画用ドライブレコーダー (99000-79BS0、99000-79CL0)



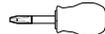
図中 番号	品名	数量
①	ドライブレコーダー	1
②	電源ケーブル	1
③	中継コネクタ	2
④	コードレール	6
⑤	両面テープ付きブラケット	1
⑥	ネジ (M3×8mm)	1
⑦	ケーブルホルダー	1
⑧	クッションテープ (200×100mm)	2
⑨	保護シート (200×100mm)	1
⑩	束線バンド	10
⑪	クリーナー	1
⑫	microSD カード (8GB)、アダプター	1
⑬	取扱説明書	1
⑭	保証書	1
⑮	補助説明書 (ご案内)	1
⑯	補助説明書 (ドライブレコーダーステッカーについて)	1
⑰	ステッカー	1

使用工具

プラスドライバー (長)



プラスドライバー (短)



ショートスタッピ



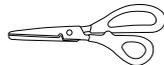
メジャー



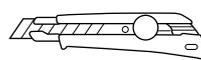
リムーバー



ハサミ



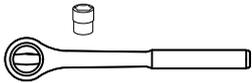
カッターナイフ



めがねレンチ (10mm)



トルクレンチ



プライヤー



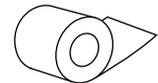
絶縁テープ



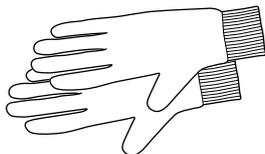
ビニールテープ



養生テープ



ケブラー手袋



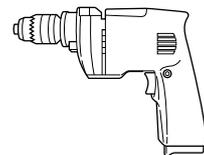
丸ヤスリ、平ヤスリ



六角レンチ (2.5mm)



電動ドリル (φ3mm、φ5mm)



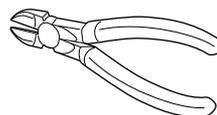
ケガキ針



針金またはスモースロッド



ニッパー



取付上の注意事項

安全上のご注意

お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ お守りいただく内容の種類を絵記号で区別して、説明しています。



注意（しなければならぬ）の内容です。



禁止（してはいけない）の内容です。



実行（かならず行っていただく）の内容です。

警告



エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしない
エアバッグが誤動作し、死亡事故の原因となります。

エアバッグ用ワイヤーハーネスに損傷を与えない
エアバッグの動作不良の原因となります。

取り付けやアース配線に車の保安部品（ステアリング、ブレーキ、タンクなど）のボルトやナットを絶対に使用しない
制御不能や発火、交通事故の原因となります。



説明書に従って取り付け・配線をする
火災や故障の原因となります。作業は手順とおりに正しく行ってください。

作業前に必ずバッテリーの⊖端子を外す
外さずに作業をするとショートによる感電やけがの原因となります。

必ず付属の部品や指定の部品を使用する
機器の損傷や確実に固定できず外れて事故や故障、火災の原因となります。

コード類は、運転を妨げないように引き回し固定する
ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、交通事故の原因となります。

車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する
断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

コード類の配線時に金属部と接触するところは、絶縁テープを巻く
コード類の被覆が切れて金属部に接触するとショートによる火災や感電、故障の原因となります。

取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確認する
車の電装品（ブレーキ、ライト、ホーン、ウインカー、ハザードなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や交通事故の原因となります。

ヒューズは、必ず規定容量品を使用する
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。

ネジなどの小物部品は乳幼児の手の届かないところに置く
あやまって飲み込むおそれがあります。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

車両部品の脱着時や配線作業時には、ケブラー手袋を装着して作業をする
シャープエッジ部などでケガをするおそれがあります。



SRSエアバッグ装着車に取り付ける際に注意する
車両復元後、SRSエアバッグ警告灯に異常がないか確認してください。

注意



コードの扱いに注意する
コードを傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものをのせる、熱機器に近づけるなどしないでください。断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となることがあります。

注記

- 車両部品の取り外しおよび取り付けは、サービスマニュアルを参照して行ってください。

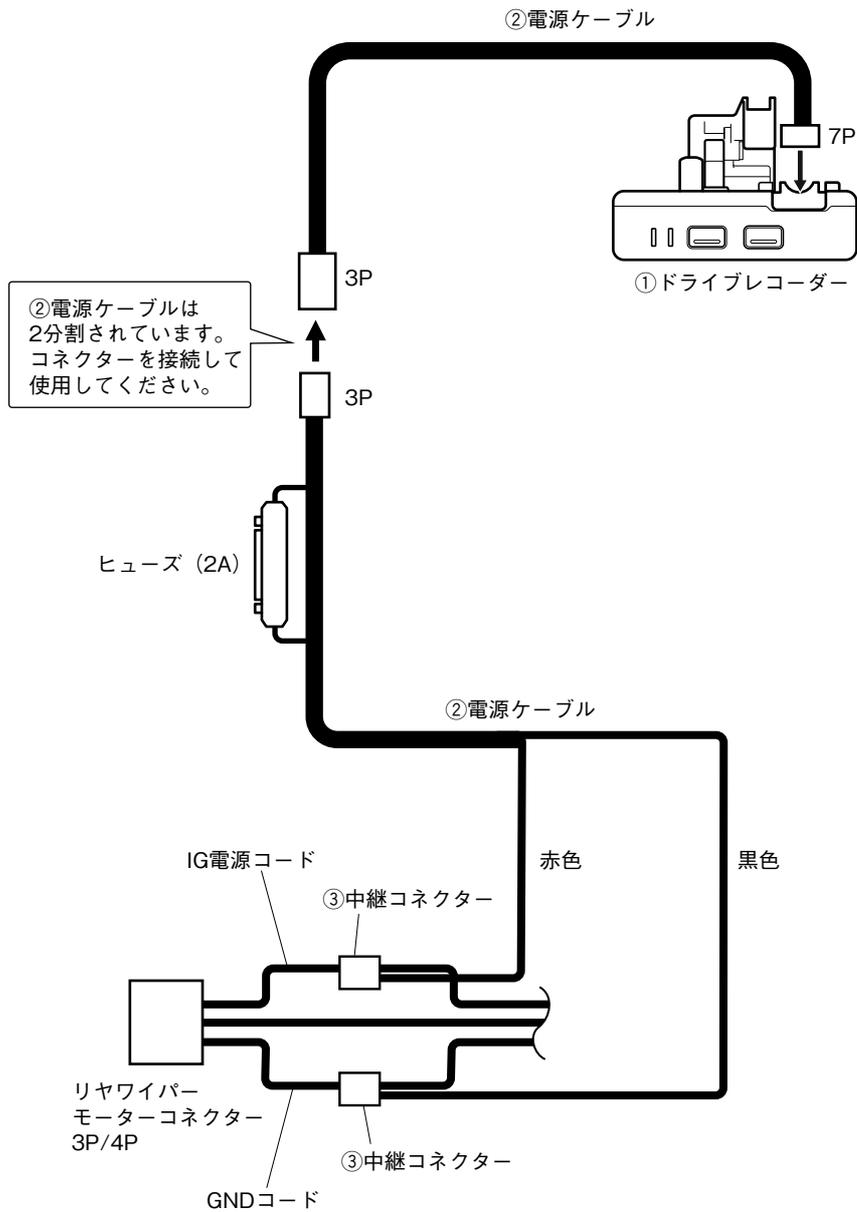
アドバイス

- 車両より取り外したネジ類は、部品別に整理して、なくさないように十分注意してください。

取付け準備作業

1. 取付け作業は、安全な場所に車を駐車させパーキングブレーキを確実に操作してください。
2. 取付け作業中の車は、エンジンを停止しエンジンキーを取り外してください。
※キーレススタートシステム付車およびプッシュスタートシステム付車についてはリモコンを車外で保管してください。
3. 構成部品および部品点数が取付説明書どおりになっているか、また不良部品の混在等はないかを確認してください。

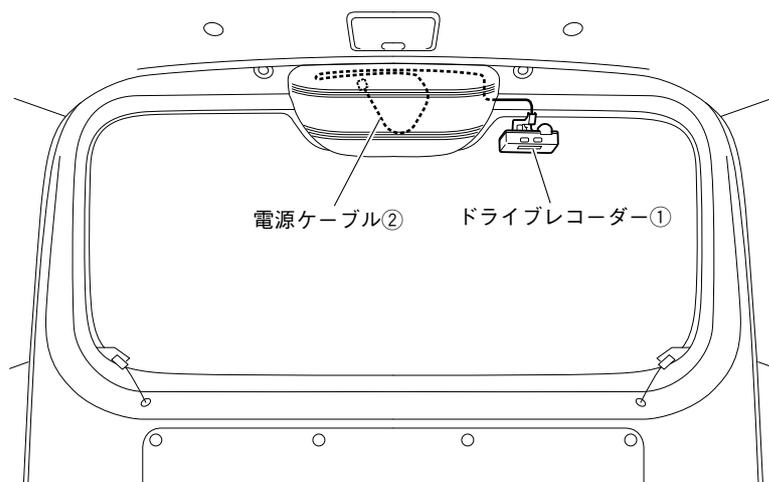
結線図



注記

車種ごとの電源の取り出し位置については、「車種別編」をご覧ください。

取付概要図



取付要領

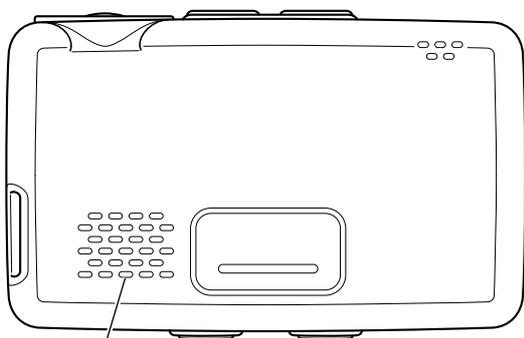
■ 保管や取り扱い上の注意

▲ 注意

スピーカーには磁力があるため、鉄製の異物（金属片など）がスピーカーの穴から入り込み、スピーカーに付着することがあります。スピーカーに異物が付着すると、音声不良が発生する原因となります。ドライブレコーダーの保管や取り扱いは、梱包袋に入れた状態で行い、異物混入には十分に注意してください。

※ ドライブレコーダーに貼られている異物混入防止テープは、ドライブレコーダーの取り付けが終了するまではがさず、動作確認を実施するときにはがしてください。

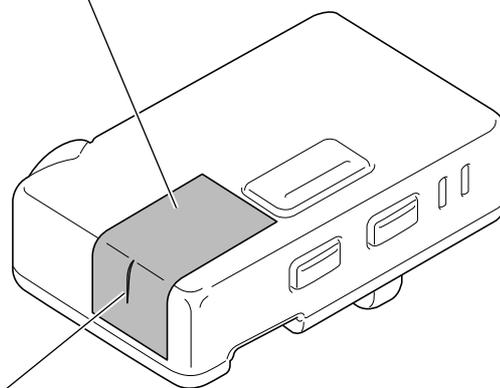
ドライブレコーダーの底面



スピーカー（穴）

異物混入防止用テープ

※ ドライブレコーダーの取り付けが終了するまではがさず、モード設定を実施するときにはがしてください。



スリット
スリット部に爪などを引っかけて、テープをはがしてください。

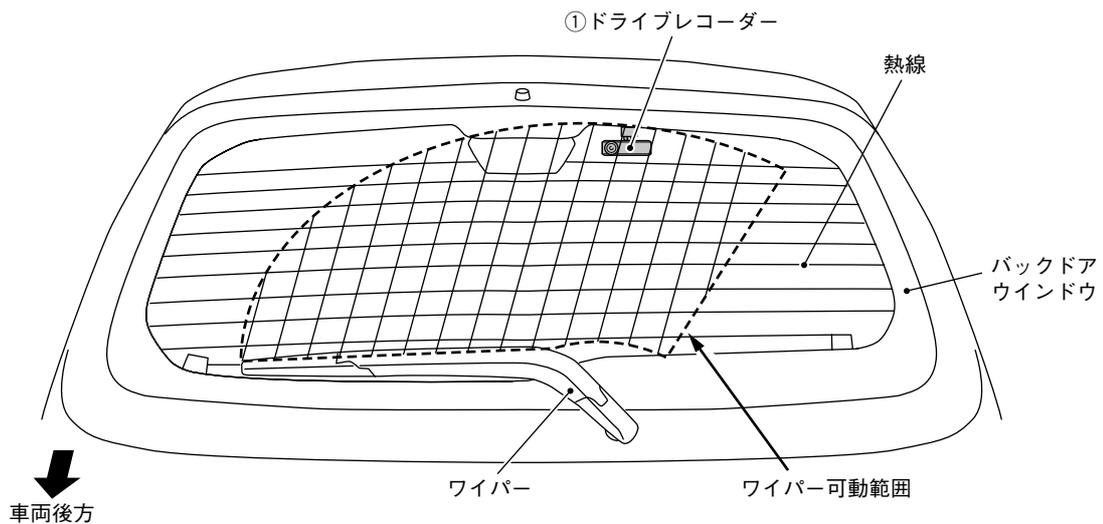
■ ドライブレコーダー取り付け上の注意

▲ 注意

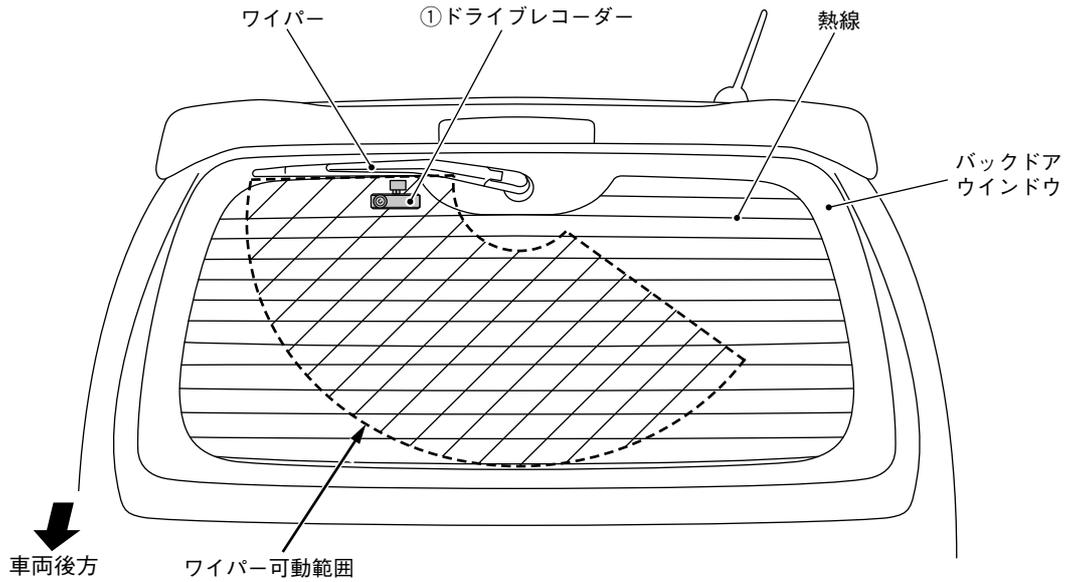
- ・ 湿気が多い時は、室外での取り付けはしないでください。
粘着力が弱くなり、走行中にはがれる危険性があります。
- ・ 貼り付け面の汚れ（油分、水滴）をきれいに拭き取ってください。特に水滴は両面テープの性能を劣化させますので注意してください。
粘着力が弱くなり走行中にはがれる危険性があります。
- ・ 気温が低い（15℃以下）と両面テープの粘着力が弱まります。ドライヤー等を使用し、バックドアウィンドウ面とドライブレコーダーの両面テープ部を暖めてから貼り付けてください。
ドライブレコーダー本体やレンズ部分には、ドライヤー等を使用しないでください。
- ・ バックドアウィンドウの熱線に⑤両面テープ付きブラケットの両面テープを貼り付けしないでください。両面テープをはがす際、熱線を破損させるおそれがあります。
- ・ 取り付け後、引っ張る等、無理な力を加えないで自然放置してください。
- ・ 確実に装着させるため⑪クリーナーでバックドアウィンドウをきれいに拭いてください。
- ・ 取り付け後バックドアウィンドウを拭く場合は両面テープに水分やガラスクリーナー等のスプレーがかからないようにしてください。粘着力が弱くなり走行中にはがれる危険性があります。

■ ドライブレコーダー取り付け位置について

外側からバックドアウィンドウを見た図

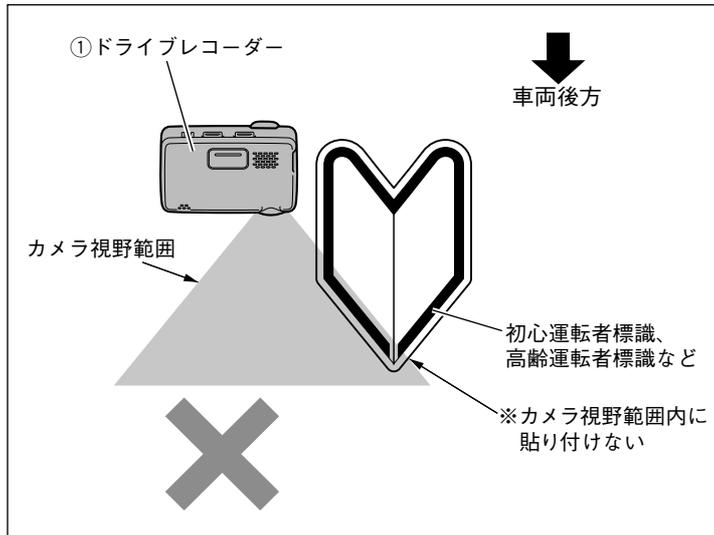


外側からバックドアウインドウを見た図



▲ 注意

①ドライブレコーダーがワイパーの可動範囲内に貼り付けられていることを確認してください。ワイパーの可動範囲外に①ドライブレコーダーを貼り付けると、雨天の際に鮮明な映像を撮影できない可能性があります。その他の場所への取り付けは、行わないでください。

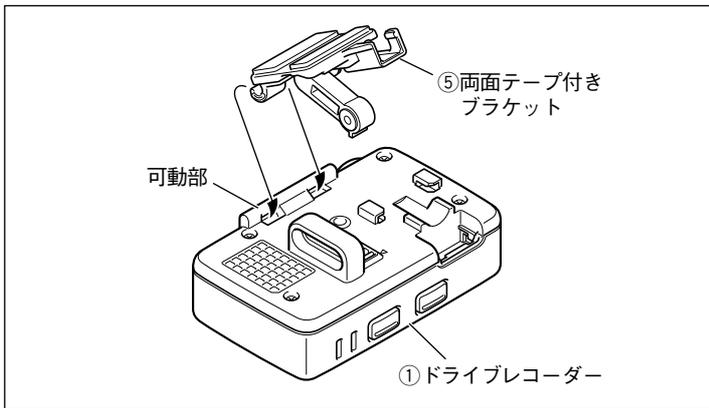


▲ 注意

初心運転者標識、高齢運転者標識などを貼り付ける際は、カメラ視野範囲外に貼り付けてください。カメラ視野範囲内に初心運転者標識、高齢運転者標識などを貼り付けると記録される映像に初心運転者標識、高齢運転者標識などが映り込みます。

■ ドライブレコーダーの取り付け

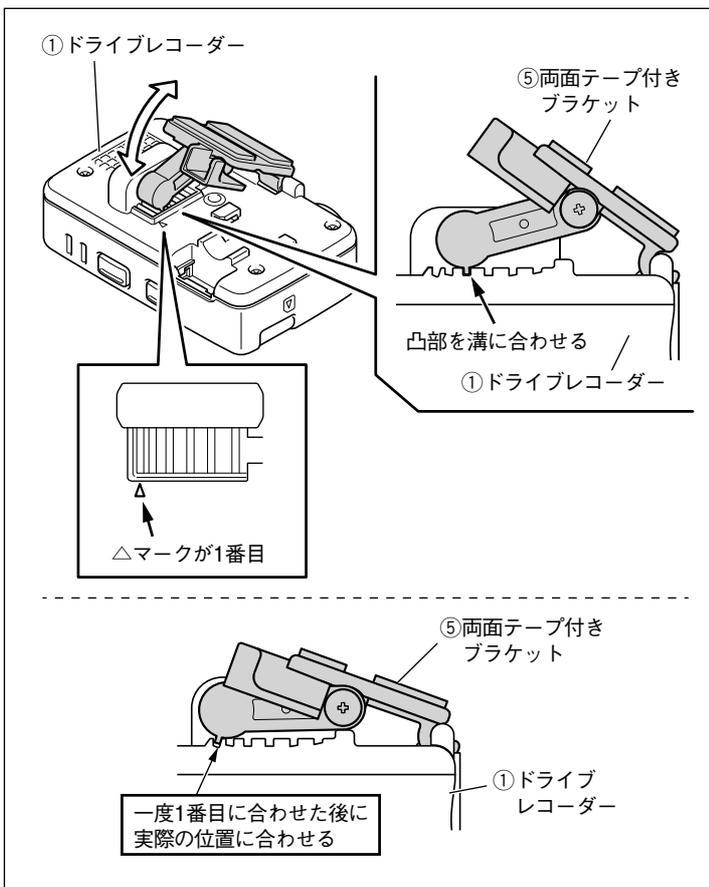
<両面テープ付きブラケットの取り付け>



- ⑤両面テープ付きブラケットを①ドライブレコーダーの可動部にはめ込みます。

▲注意

⑤両面テープ付きブラケットの向きを間違えないように注意してください。



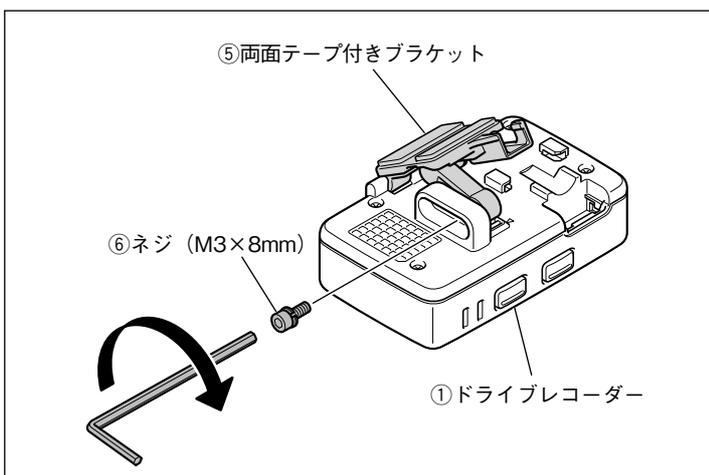
- ⑤両面テープ付きブラケットの凸部と①ドライブレコーダーの溝を車種別の取付説明書に記載されている位置に合わせます。

▲注意

車種により合わせ位置が異なります。詳しくは車種別の取付説明書を参照してください。

▲注意

⑤両面テープ付きブラケットを①ドライブレコーダーの可動部に確実にめ込むため、一度1番目の溝に合わせた後、実際の位置に合わせてください。



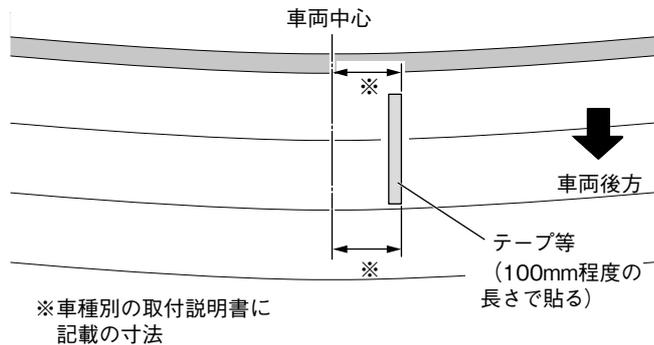
- ⑥ネジ (M3×8mm) で⑤両面テープ付きブラケットを固定します。

▲注意

- ⑥ネジ (M3×8mm) を固定する際は、六角レンチ (2.5mm) を使用してください。
- 凸部の合わせ位置がずれていないことを確認してから固定してください。

<ドライブレコーダー取付位置のマーキング>

車室外側からバックドアウィンドウを見た図

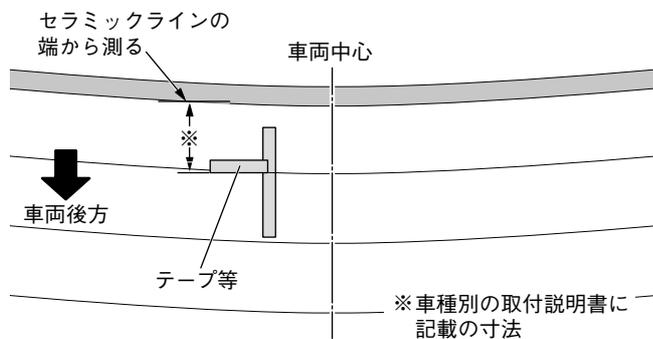


1. 車種別の取付説明書に記載されている位置の横方向の基準線を車両外側へテープ等でマーキングします。

▲注意

- ・車種によりマーキング位置が異なります。詳しくは車種別の取付説明書を参照してください。
- ・車種別の取付説明書で示す①ドライブレコーダーの貼付寸法を遵守してください。
- ・テープ等の外側が基準線となるようにマーキングしてください。
- ・上下の2箇所で寸法を測り、基準線が垂直となるようにマーキングしてください。

車室内側からバックドアウィンドウを見た図

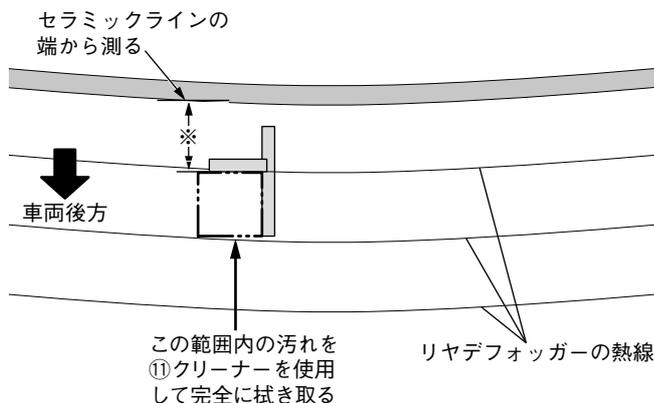


2. 車種別の取付説明書に記載されている位置の縦方向の基準線を車両内側へテープ等でマーキングします。

▲注意

- ・車種によりマーキング位置が異なります。詳しくは車種別の取付説明書を参照してください。
- ・車種別の取付説明書で示す①ドライブレコーダーの貼付寸法を遵守してください。
- ・テープ等の下側が基準線となるようにマーキングしてください。
- ・縦方向の基準マーキングが地面に対して水平であることを確認してください。

車室内側からバックドアウィンドウを見た図

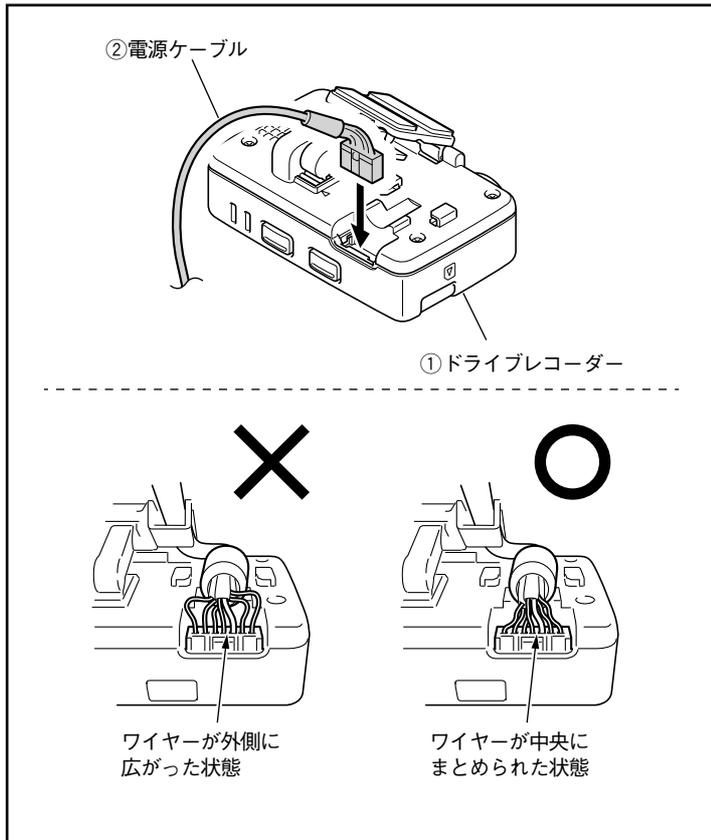


3. ①ドライブレコーダーを貼り付ける位置のバックドアウィンドウ（車室内側）の汚れ（ゴミ、油）や、曇り止め等を①クリーナーで完全に拭き取ります。
4. バックドアウィンドウに付いた①クリーナーの成分をきれいなウエスで完全に拭き取ります。

▲注意

- ・リヤデフォグの熱線を傷付けないよう、熱線に沿って拭いてください。
- ・バックドアウィンドウが乾かないうちは、①ドライブレコーダーの貼り付け作業を行なわないでください。バックドアウィンドウに貼り付かなくなります。
- ・拭き取り後は、貼り付け位置には触れないでください。

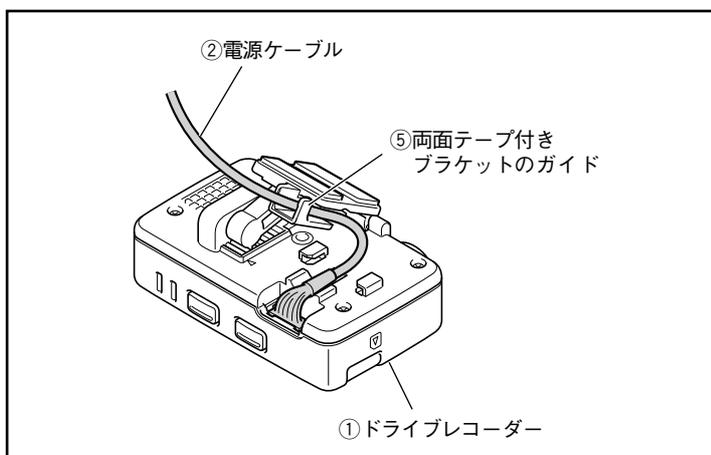
<ドライブレコーダーの取り付け>



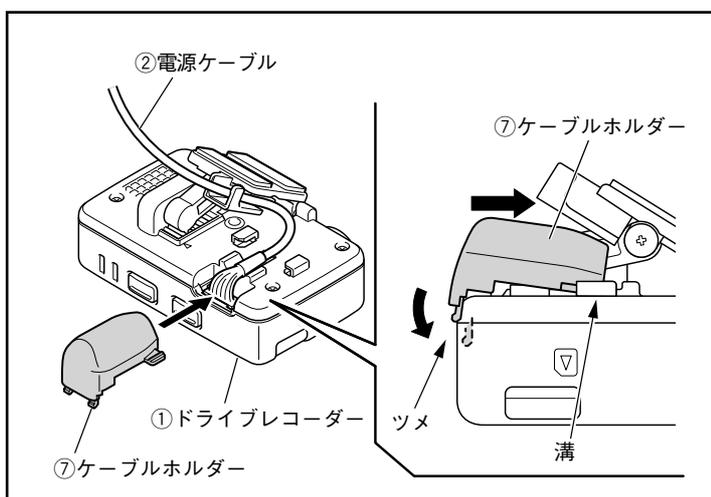
- ①ドライブレコーダーに②電源ケーブルを接続し、ワイヤーを中央にまとめます。

▲注意

ワイヤーが中央にまとまっていないと、⑦ケーブルホルダーを取り付ける際にかみ込むおそれがあります。



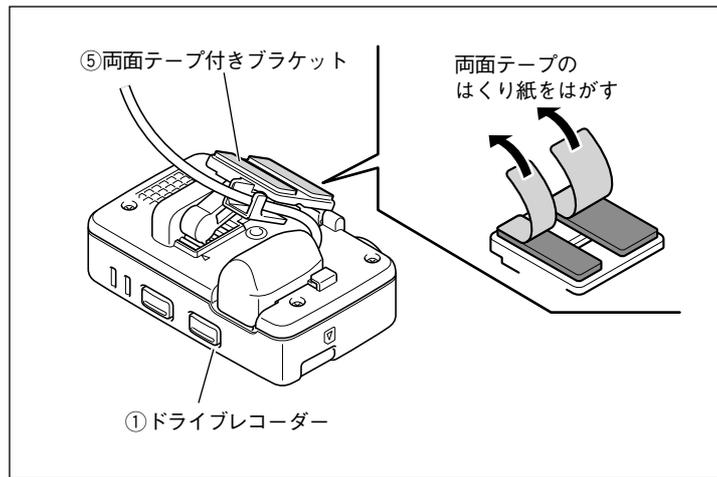
- ②電源ケーブルを⑤両面テープ付きブラケットのガイドに通します。



- ①ドライブレコーダー上面の溝に⑦ケーブルホルダーを差し込みます。
- ⑦ケーブルホルダーのツメを①ドライブレコーダーのコネクター部に差し込んで、⑦ケーブルホルダーを固定します。

▲注意

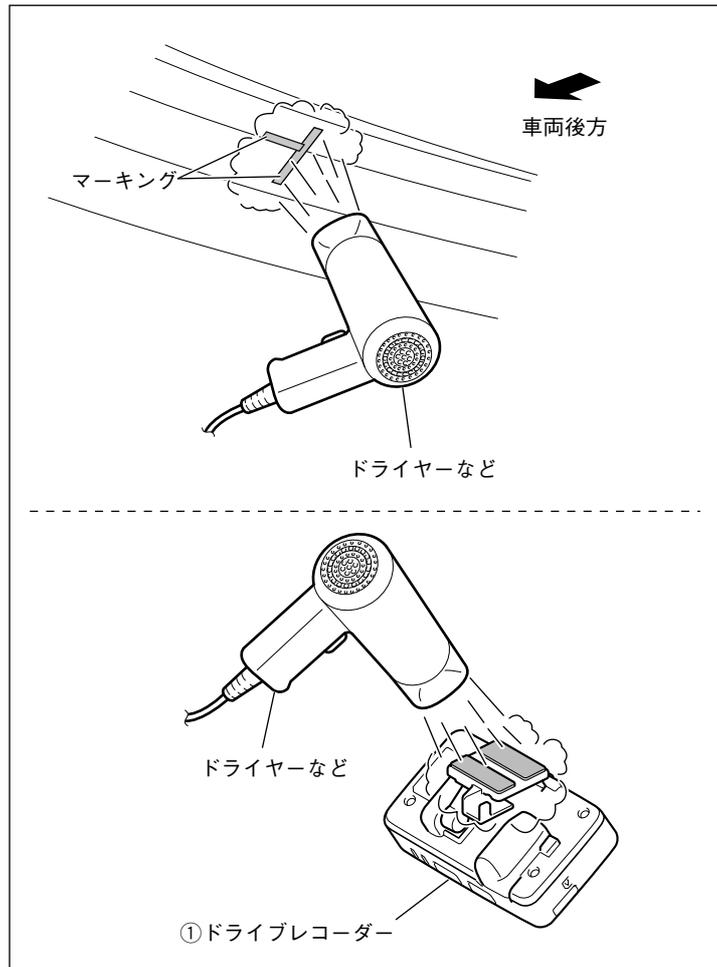
- ⑦ケーブルホルダーのツメが①ドライブレコーダーのコネクター部にしっかりかかっていることを確認してください。
- ②電源ケーブルのワイヤーが⑦ケーブルホルダーにかみ込んでいないことを確認してください。



5. ⑤両面テープ付きブラケットの両面テープからはくり紙をはがします。

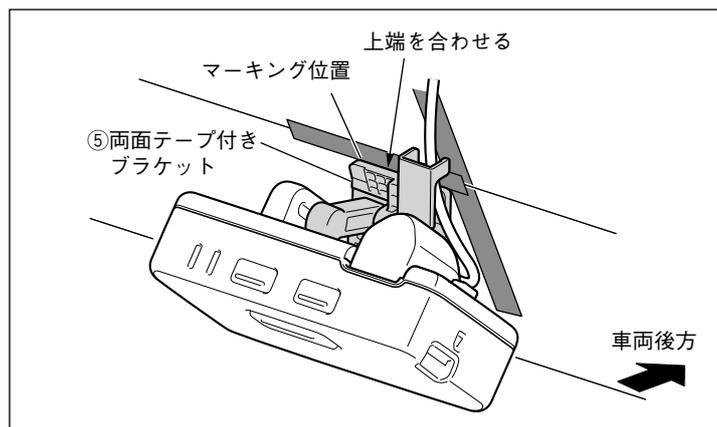
▲注意

粘着力が弱まり、①ドライブレコーダーが落下するおそれがありますので、両面テープの粘着面に手を触れないでください。



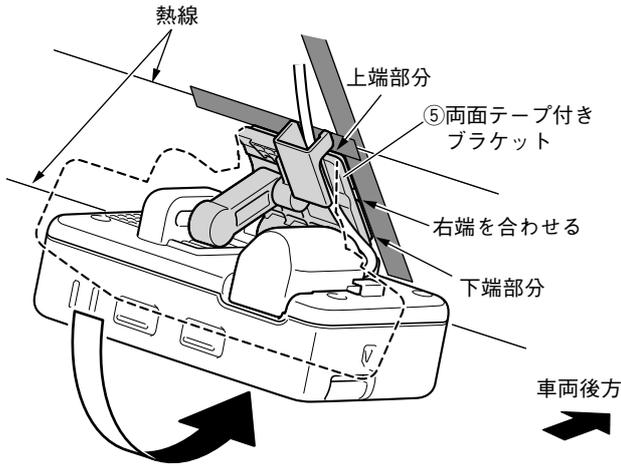
▲注意

- ・作業環境（温度・湿気）に注意してください。
- ・温度が低い場合は、ドライヤーなどでバックドアウィンドウ面と①ドライブレコーダーの両面テープ部を暖めてから貼り付け作業を行ってください。
- ・温度について
貼付作業時の環境温度は、15℃以上が推奨です。気温が低い時期（気温15℃未満の作業環境など）は、両面テープの柔軟性が低下して、バックドアウィンドウ面と十分な粘着力が得られない場合があります。
- ・湿気について
貼付部のウィンドウ表面を乾燥させてください。室温に比べてウィンドウ表面温度が低い場合は、結露によって水滴や湿気が付着しやすくなり、両面テープの粘着力が著しく低下します。
- ・①ドライブレコーダーを暖めすぎると、破損する可能性がありますので、両面テープを暖める際は、数秒だけドライヤーなどで暖めてください。

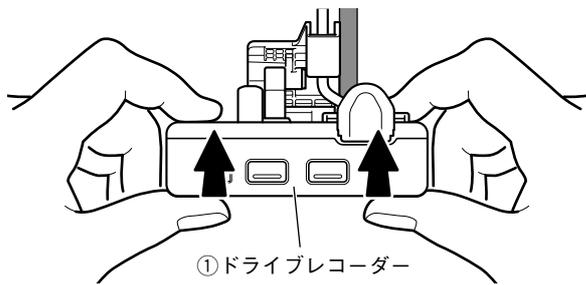
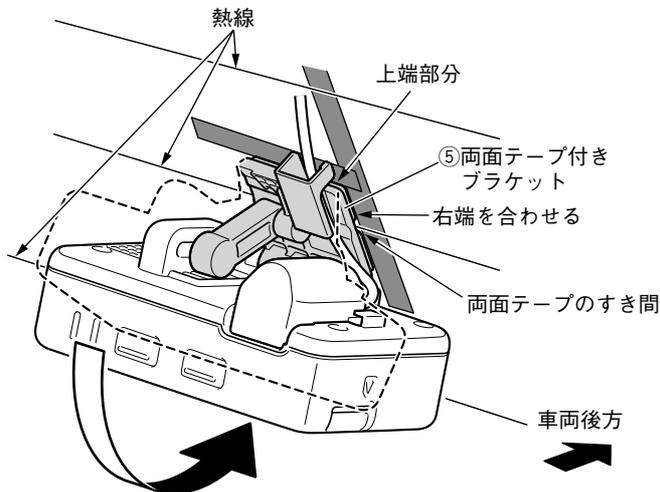


6. マーキング位置に⑤両面テープ付きブラケットの上端を合わせます。

<熱線の間貼り付ける場合の例>



<熱線をまたぐ場合の例>



7. ⑤両面テープ付きブラケットを貼り付け面の上端から下端へ右端をマーキング位置に合わせながら、貼り付けます。

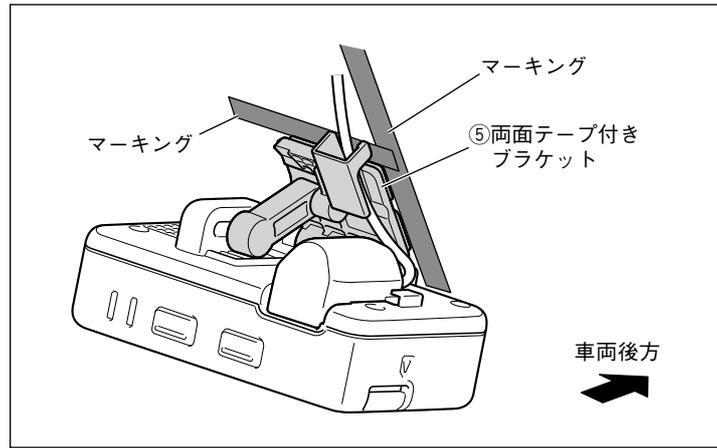
▲注意

- ・バックドアウィンドウの熱線に⑤両面テープ付きブラケットの両面テープを貼り付けしないでください。両面テープをはがす際、熱線を破損させるおそれがあります。
- ・助手席側に①ドライブレコーダーを貼り付ける場合は、⑤両面テープ付きブラケットの左端を合わせてください。
- ・気泡が入らないように貼り付けてください。

8. ①ドライブレコーダーをバックドアウィンドウに対して垂直方向に強く押しつけて貼り付けます。

▲注意

- ・両面テープをしっかりと定着させるため、十分に⑤両面テープ付きブラケットをバックドアガラスに押しつけてください。
- ・①ドライブレコーダー貼り付け後、車両外側から見て両面テープの部分に気泡が無いことを確認してください。
- ・粘着力が弱まり、落下するおそれがありますので、①ドライブレコーダーを貼り直したりしないでください。
- ・貼り付け後、ガラスクリーナー等を用いて付近を清掃する場合は、必ず10分以上放置後に行ってください。十分な時間が経たずにガラスクリーナー等のスプレーや水分が付着すると、粘着力が低下し落下する可能性があります。

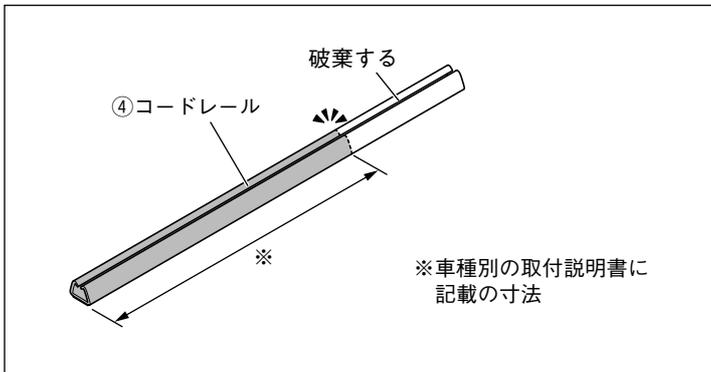


9. マーキングをはがします。

<バックドア上部～バックドア中央部の配線：バックドア表面へ配線する場合>

▲注意

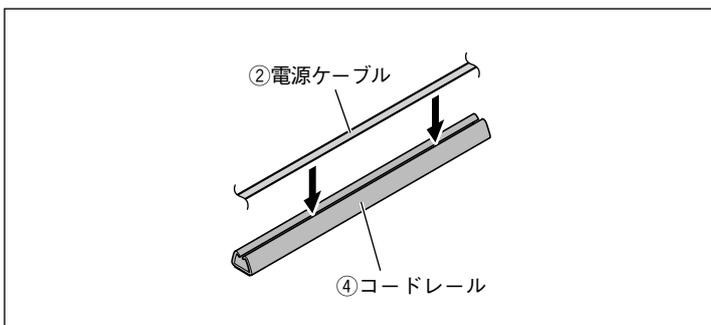
車種により配線の方法が異なります。詳しくは車種別の取付説明書を参照してください。



1. ④コードレールを車種別の取付説明書に記載の寸法でカットします。

▲注意

- ・車種によりカットする位置が異なります。詳しくは車種別の取付説明書を参照してください。
- ・④コードレールは指定の寸法にカットしてください。
- ・カットする際は、ケブラー手袋を装着して手を保護してください。



2. ④コードレールを貼り付けます。

▲注意

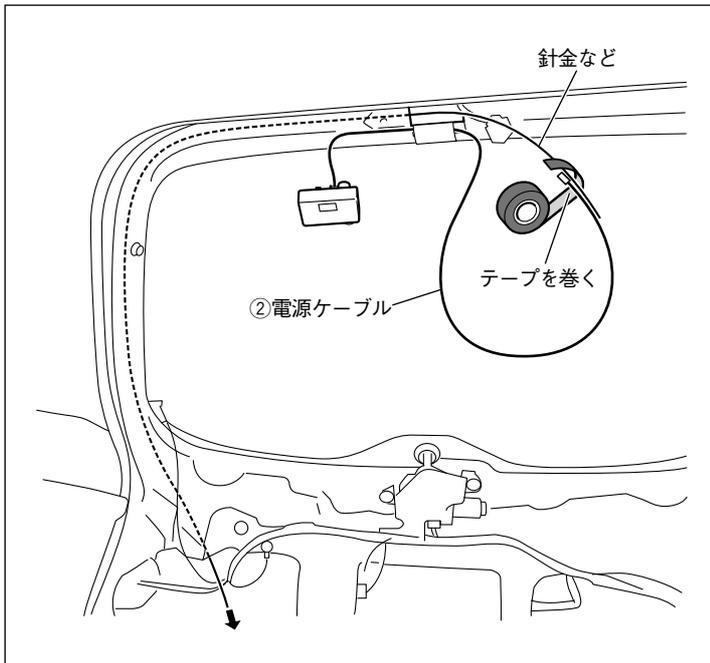
- ・車種により貼り付ける位置や数量が異なります。詳しくは車種別の取付説明書を参照してください。
- ・貼付面の油分や汚れをきれいに拭き取ってください。
- ・粘着力が弱まり、④コードレールがはがれるおそれがありますので、両面テープの粘着面に手を触れないでください。
- ・温度が低い場合は、ドライヤーなどで貼付面と両面テープを暖めてから貼り付け作業を行ってください。
- ・④コードレールは平面部に④コードレールどうしのすき間を極力詰めて貼り付けてください。

3. ②電源ケーブルを④コードレールの溝に押し込みます。

<バックドア上部～バックドア中央部の配線：バックドア内部へ配線する場合>

▲注意

車種により配線の方法が異なります。詳しくは車種別の取付説明書を参照してください。



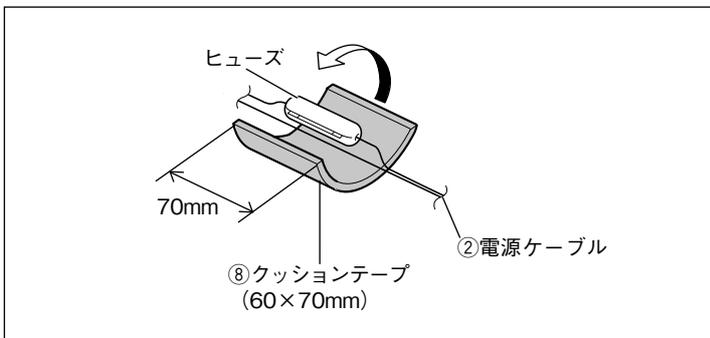
1. 針金などを用意して、針金などの末端部分に②電源ケーブルを固定します。
2. ②電源ケーブルを固定した針金などの先端をバックドアパネルの穴から挿入します。

▲注意

針金などを使用して引き込みする際は、車両に傷が付かないように注意してください。

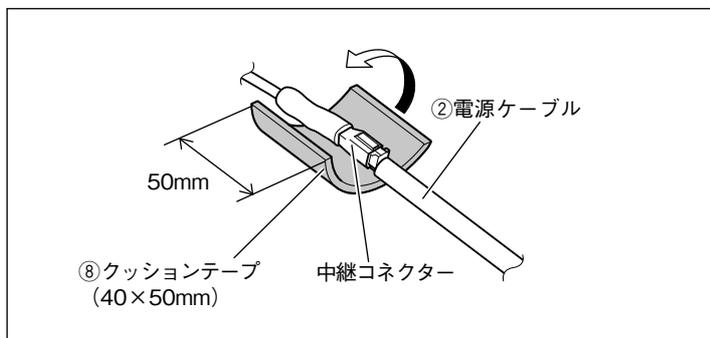
3. ②電源ケーブルを固定した針金などをバックドアパネル下部から引き出し、バックドアパネル内へ②電源ケーブルを配線します。

■ 配線を行う際の注意

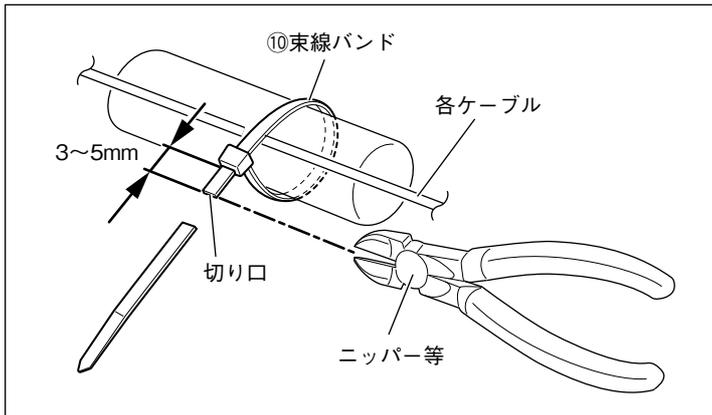


▲注意

異音防止のため②電源ケーブルのヒューズおよび中継コネクタにカットした⑧クッションテープを巻き付けてください。



■ 束線バンドのカットについて

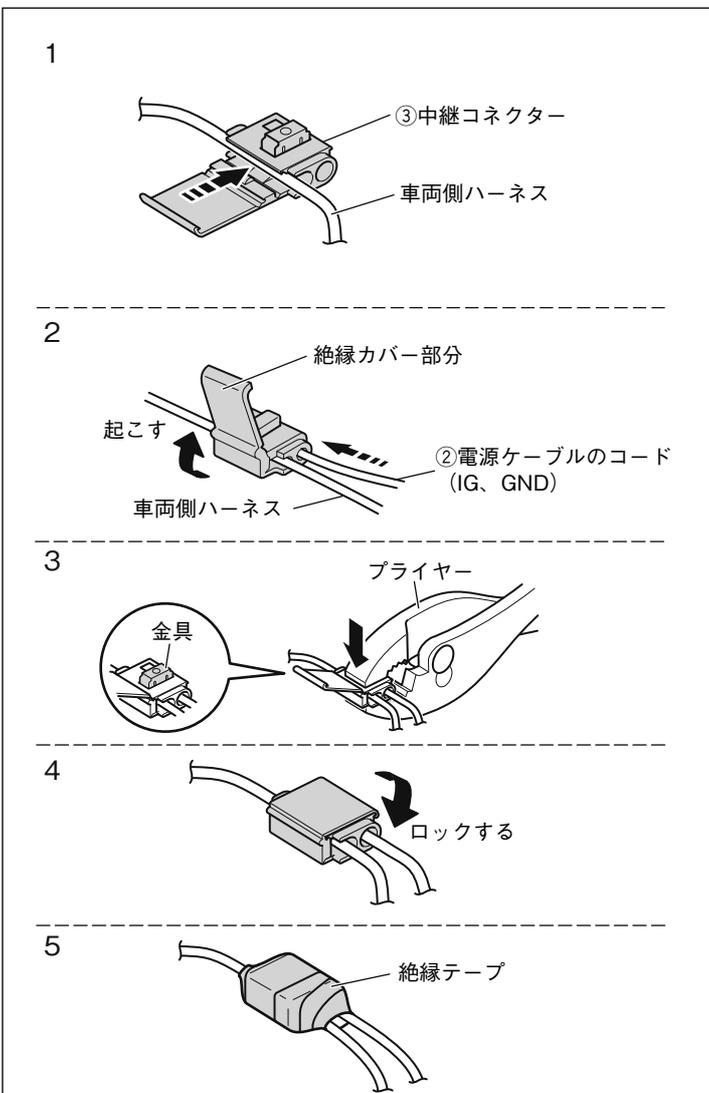


注記

⑩ 束線バンドは3～5mmの切代を残し、切り口が鋭利な形状とならないようニッパー等でカットしてください。
切代が短すぎるとバンドが外れるおそれがあります。

■ 中継コネクタの使用法

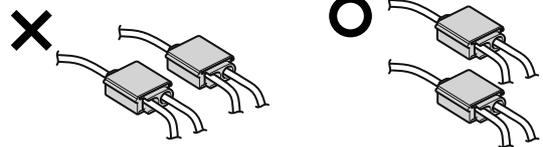
< 99000-79BS0 の場合 >



1. 車両側ハーネスの指定のコードを③中継コネクタに通します。

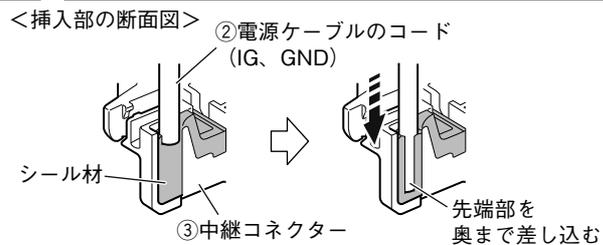
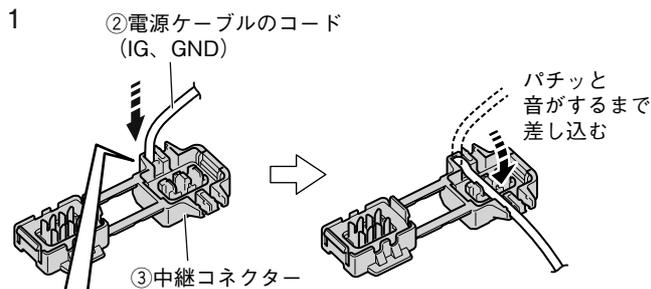
▲ 注意

- ・ 車両側ハーネスがビニールチューブ等で覆われている場合は、ビニールチューブ等を適量カットしてください。
- ・ ③中継コネクタは、2個がとなり合わせとならないように位置をずらして取り付けてください。

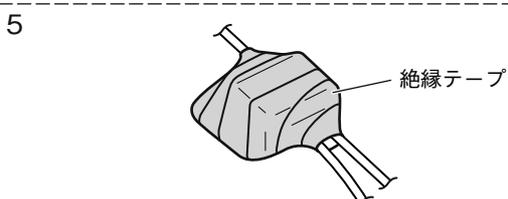
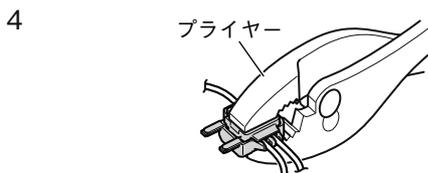
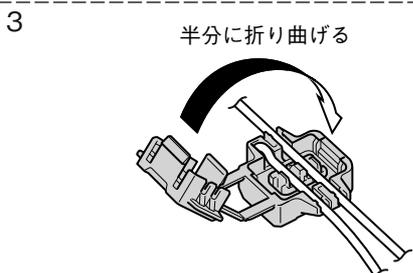
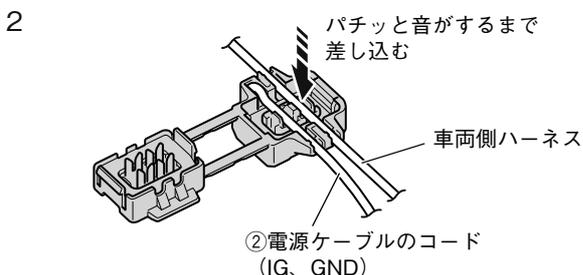
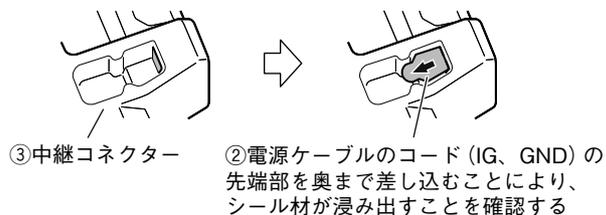


2. 絶縁カバーを起こします。
②電源ケーブルの指定のコードを③中継コネクタに突き当たるまで差し込みます。
3. プライヤーで金具を押し込みます。
4. 絶縁カバーを閉じてロックします。
5. ③中継コネクタを絶縁テープなどで巻きます。

< 99000-79CLO の場合 >



<③中継コネクタを裏側から見た図>



- ②電源ケーブルの指定のコードを③中継コネクタに左図のように差し込みます。

▲注意

- ②電源ケーブルの先端部から10mm程度の位置を掴んでください。



- 挿入した②電源ケーブルは前後左右に動かさないでください。

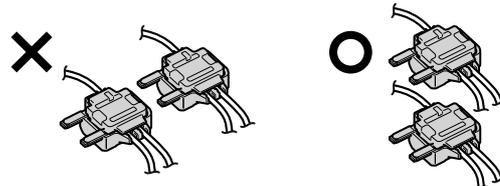


- 挿入した②電源ケーブルは抜かないでください。

- 車両側ハーネスの指定のコードを③中継コネクタに差し込みます。

▲注意

- 車両側ハーネスがビニールチューブ等で覆われている場合は、ビニールチューブ等を適量カットしてください。
- ③中継コネクタは、2個がとなり合わせとならないように位置をずらして取り付けてください。



- 半分に折り曲げます。

- プライヤーで押さえます。

- ③中継コネクタを絶縁テープなどで巻きます。

取り付け完了後の点検・調整

- ・車両部品復元時に一時的に取り外した部品は、必ずサービスマニュアルの手順に沿って、用品取り付け前の状態に戻してください。(コネクター類の接続・締め付けトルク等)
- ・取り付け作業完了後、車両および用品が正しく機能しているか動作確認してください。
- ・オートライト機能装備車の場合は、オートライト未作動状態での点検を行ってください。

1. 取り付けの確認

1. 配線や取り付けに異常がないか点検してください。
2. 特に車両ハーネス等を無理に引っ張ったり、かみ込んでいないか確認してください。
3. ネジ類の締め付けが完全か、締め忘れはないか確認してください。

2. 作動確認

1. バッテリーのマイナス端子を取り付けます。
2. エンジンを始動した状態で後方録画用ドライブレコーダーの動作確認を行ってください。
(トラブルシュートについては後方録画用ドライブレコーダーに付属の取扱説明書に記載してあります。)

3. 最終確認

1. 車両のメーター、警告灯、ヘッドランプ、エアコン、時計、ホーン、ワイパー、アクセサリースOCKETなどが正常に動作することを確認してください。

取り付け店様へのお願い

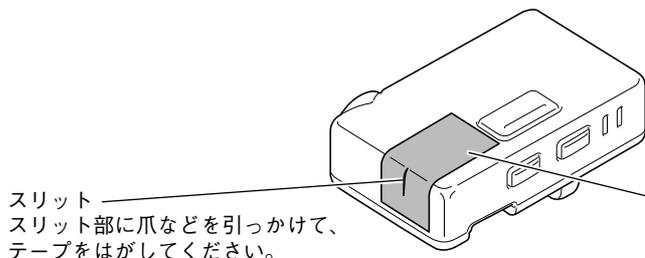
必ずお客様に操作要領を説明してください。

モード設定

▲注意

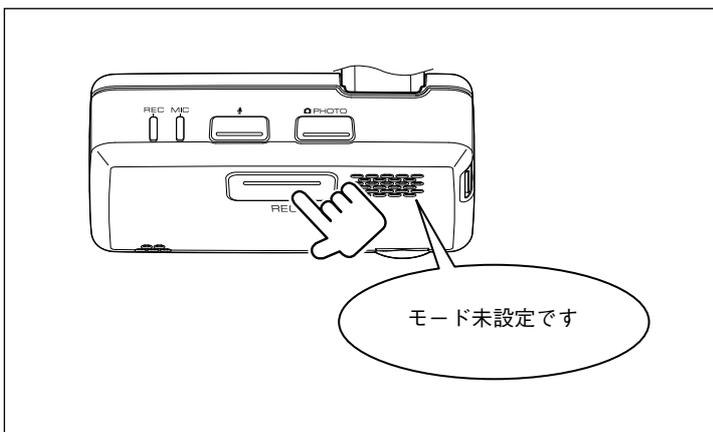
- ・モード設定は、microSDカードを挿入した状態ではできません。
- ・誤ったモード設定をした場合は、システムが正常に動作しないおそれがあります。
- ・モード設定が完了しないと録画できません。
- ・バックドアの開閉状態は、モード設定に影響しません。

※ドライブレコーダーに貼られている異物混入防止用テープをはがしてから、作業を行ってください。



スリット
スリット部に爪などを引っかけて、
テープをはがしてください。

異物混入防止用テープ
※ドライブレコーダーの取り付けが終了
するまではがさず、モード設定を実施
するときにはがしてください。

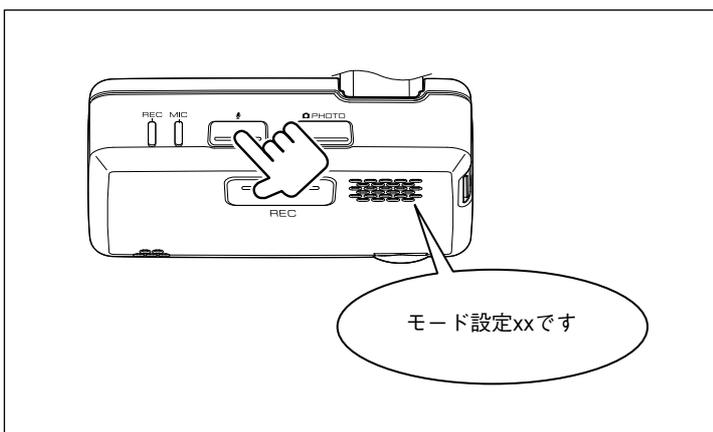


1.車両のイグニッションキーを「ON」にします。

2.「REC」ボタンを5秒以上長押しします。

▲注意

一定周期で「モード未設定です」と発話します。

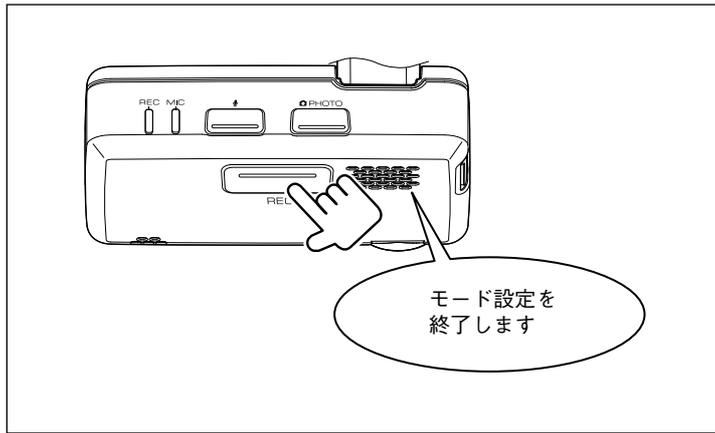


3.「M」ボタンを短押しして、設定値を選択します。
「M」ボタンを押すたびに、設定「1→2→3→4」が切り
替わり、現在の設定値を発話します。
下記の表に従い設定値を選択してください。

▲注意

- ・設定の切り替えは5秒以内に行ってください。
5秒経過すると、モード設定が完了せず強制終了
しますので、再度手順2からやり直してください。
- ・「M」ボタンを短押ししても「モード設定 xx です」
と発話しない場合は、設定状態になっていない
ので、再度手順2からやり直してください。

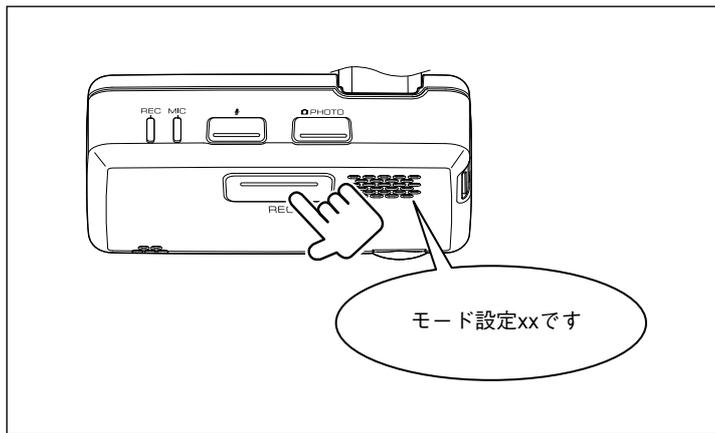
設定値	バックドア ガラス角度補正	対象車種
設定 1	なし	ワゴン R、ワゴン R スマイル、ラバン、アルト、クロスビー、スイフト、ソリオ、イグニス、エスクード
設定 2	使用しません	—
設定 3	あり	スペーシア、スペーシア ベース、ジムニー、ジムニーシエラ、エブリイ、ハスラー
設定 4	使用しません	—



4.「REC」ボタンを短押しして、設定値を確定します。「モード設定を終了します」と発話します。

▲注意

設定の切り替え後は、5秒以内に「REC」ボタンを短押しします。5秒経過すると、モード設定が完了せずに強制終了しますので、再度手順2からやり直してください。



5.「REC」ボタンを5秒以上長押しして、手順3の表の設定値通りになっているか確認します。

▲注意

- ・一定周期で「SDカードがありません」と発話します。「REC」ボタンを長押しすると「モード設定xxです」と発話しますので、設定値通りになっているか確認します。
- ・設定値が正しくない場合は、再度手順2から設定し直してください。

6.イグニッションキーをOFFにします。



※続けて、次ページ以降の「動作確認」を行ってください。

動作確認

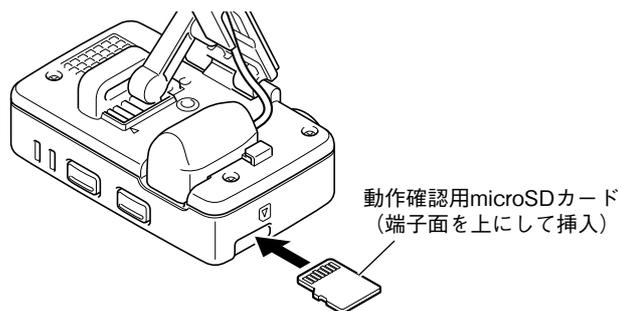
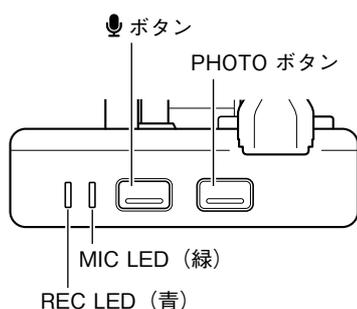
● P19～P20の「モード設定」が終了してから行ってください。

■ ドライブレコーダー本体の基本操作

< microSD カードの抜き差し >

microSDカードの抜き差しの際は、エンジンを停止させ、イグニッションをOFFにしてLED消灯を確認してください。

(1) 動作確認用の microSDカードを挿入口に端子面を上にして、カチッと音がするまで挿入します。microSDカードの向きに注意してください。



(2) microSDカードを取り出すときは、microSDカードを押して、microSDカードが少し飛び出たら引き抜きます。

▲ 注意

- ・ microSDカードの抜き差しの際は、エンジンを停止させ、イグニッションをOFFにしてLED消灯を確認してください。
- ・ microSDカードは本機で記録されるデータ以外保存しないでください。
- ・ microSDカードへアクセス中 (REC LED が点灯) は microSDカードを取り出さないでください。
- ・ 動作確認用 microSDカードは、同梱の microSDカードと同等のものを使用してください。
- ・ 必ず、動作確認用 microSDカードを事前に準備してください。(同梱の microSDカードは使用しないでください。)

<LED による状態通知 >

条件	LED	
	REC (青色)	MIC (緑色)
常時録画開始	点灯	—
常時録画停止	消灯	—
手動録画開始	点灯	—
イベント (衝撃) 記録開始	点灯	—
音声記録 ON	—	点灯
音声記録 OFF	—	消灯

■ ドライブレコーダー本体の動作確認

<録画動作の確認>

本機を取り付けた後、本機にmicroSDカードを挿入した状態で以下の動作確認を実施してください。



注意

パーキングブレーキがかかっていることを確認してください。

No.	実施事項	正常動作	正常動作しない場合の確認事項	チェック
1	車両のイグニッションを ON にする	REC LED が点灯する	<ul style="list-style-type: none"> ケーブルの接続を確認してください microSDカードが正しく挿入されていることを確認してください 	<input type="checkbox"/>
2	REC LED が点灯した後 10 秒以上経過しても、自己診断エラー (下記自己診断機能一覧表を参照) が出ていないことを確認する	REC LED が点灯する	<ul style="list-style-type: none"> 下記自己診断機能一覧表の対処法を参照してください 	<input type="checkbox"/>
		MIC LED が点灯する	<ul style="list-style-type: none"> マイクボタンを押して音声記録をオンにしてください 	<input type="checkbox"/>

● 自己診断機能一覧表

音声ガイダンス	検出できる異常状態	対処方法
SDカードがありません ※ ドライブレコーダーに microSDカードを挿入してください	microSDカードが正しく挿入されていない	microSDカードを正しく挿入してください
SDカードの初期化が必要です ※ ドライブレコーダーの microSDカードを確認してください	microSDカードのフォーマットがされていない	フォーマットされた microSDカードを使用してください
SDカードエラーです	microSDカードが異常または認識できない	壊れている可能性があるため microSDカードを交換してください
録画を中止しました ※ ドライブレコーダーが録画を中止しました	本体の異常により録画を停止した	ハード異常の可能性がります ドライブレコーダーを交換してください

■ パソコンを使用した動作確認

<パソコンの準備>

- 1.動作確認用microSDカード、SDカードアダプター、カードリーダー、パソコン（下記スペックを参照）を準備する。
- 2.動作確認用microSDカードをSDカードアダプターおよびカードリーダーを使用してパソコンに認識させる。

●パソコンの必要スペック

OS	Windows 8.1/8.1Pro (32Bit/64Bit) Windows 10 (32Bit/64Bit) (Windows 10 mobile は除く)
CPU	Intel Core i3 2GHz 以上
メモリ	2GB 以上
ディスプレイ	1280x800 以上
サウンド	Windows で使用可能な PCM サウンド再生機能
その他	インターネット接続環境が必要です。

※Windows 8.1/8.1Pro、Windows 10 は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

※Intel Coreは、Intel Corp.の登録商標または商標です。

<メモリーカードをフォーマットする>

- 1.SD メモリーカードフォーマットソフトウェアを準備する。
SD メモリーカードフォーマットソフトウェアをお使いのパソコンへインストールします。インストール手順は、専用サイトを参照ください。
 - (1) Internet Explorer などのウェブブラウザを起動し、専用サイト<http://www.kenwood.com/jp/products/oem/dop/>にアクセスします。
 - (2) 車両メーカー名から取り付けたドライブレコーダーの型番を選択してください。
 - (3) 「SDメモリーカードフォーマットソフトウェア」を選択してください。
 - (4) 記述されている手順に従って、SDメモリーカードフォーマットソフトウェアをインストールしてください。
- 2.SD メモリーカードフォーマットソフトウェアでフォーマットする。

<録画する>

- 1.フォーマットされたmicro SDカードをドライブレコーダー本体へ挿入する。
- 2.イグニッションキーをONにしてドライブレコーダー本体の電源がオンになると、常時録画が開始される。
ドライブレコーダー本体のREC LED（青色）が点灯していることを確認してください。
- 3.イグニッションキーをOFFにして、ドライブレコーダーからmicro SDカードを取り出す。

<ビューアソフトをインストールする>

1. 専用サイト<http://www.kenwood.com/jp/products/oem/dop/>にアクセスして、車両メーカーから取り付けたドライブレコーダーの型番を選択する。
2. インストーラー「Setup_RE1-xx.msi」をダウンロードして、パソコン内の任意の場所（デスクトップなど）にコピーする。
「Setup_RE1-xx.msi」の「xx」は、バージョンを表します。
3. コピーした「Setup_RE1-xx.msi」をダブルクリックする。



4. セットアップウィザード画面の指示に従ってインストールを進める。
※ ユーザーアカウント制御の警告が表示された場合は、「はい」をクリックしてください。
5. 「完了」をクリックする。
インストールが完了します。

<パソコンによる確認>

1. ドライブレコーダー本体から抜いた動作確認用microSDカードをカードリーダーなどを使用してパソコンへ挿入する。
2. パソコンにインストールしたビューアソフトを起動する。
3. ビューアソフトのドライブ選択よりmicroSDカードのドライブを選択する。
録画された映像が再生されます。

ドライブ選択



ビューアソフトの各部説明



No	名称	説明
①	拡大表示機能	再生している映像画面の上下左右の場所を拡大したり、任意の場所を拡大表示します。
②	メニュー	ファイル：フォルダ選択、kmz/kml にエクスポート、バックアップ、終了 設定：microSD カードに設定ファイルを書き込みます。 ヘルプ：ビューアソフトのバージョンが確認できます。
③	映像再生画面	映像を再生または表示する画面です。
④	トラックバー / 再生時間	トラックバー：再生位置を表示します。 再生時間：再生時間と総再生時間を表示します。
⑤	再生操作ボタン	再生操作ができます。(再生、一時停止、停止、ファイル送り / 戻し、コマ送り / 戻し、再生中の映像を静止画として保存、再生速度の調整、音量の調整)
⑥	グラフ	再生ファイルの走行状態をグラフ表示します。(速度、加速度)
⑦	再生中のファイルのパス	再生ファイルの格納場所を表示します。
⑧	スピードメーター	再生ファイルの車速を表示します。
⑨	種類別一覧	ファイル、イベント、静止画の一覧を表示します。
⑩	地図表示ボタン	再生映像の位置情報を地図上に表示します。 地図が表示されていないときは「マップ▲」をクリックします。

No	実施項目	正常動作	正常動作しない場合の確認事項	チェック
①	カメラ映像の確認	映像に黒色プリントなどが極端に映り込んでいないこと	・取付説明書通りに取り付けができて いるか再度確認してください	<input type="checkbox"/>
②	音声の確認	音声の記録ができていないこと	・MIC LED が点灯していることを確認 してください 点灯していない 場合は、MIC ボタンを押して音声記録 をオンに切り替えて再度確認して ください	<input type="checkbox"/>